



平成24年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月8日

上場会社名 日本社宅サービス株式会社

上場取引所 東

コード番号 8945 URL <http://www.syataku.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 笹 晃弘

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 竹村 清紀

TEL 03-5229-8700

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年6月期第1四半期の連結業績(平成23年7月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年6月期第1四半期	1,462	0.2	133	△10.9	132	△7.8	62	△10.0
23年6月期第1四半期	1,459	1.9	149	46.9	143	52.0	69	49.8

(注) 包括利益 24年6月期第1四半期 58百万円 (△10.6%) 23年6月期第1四半期 65百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年6月期第1四半期	25.20	—
23年6月期第1四半期	2,731.54	—

(注) 当社は、平成22年10月1日付で当社普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。このため、平成23年6月期第1四半期の1株当たり四半期純利益については、当該株式分割が行われる前の数値で表示しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年6月期第1四半期	5,091	1,785	35.1
23年6月期	3,978	1,794	45.1

(参考) 自己資本 24年6月期第1四半期 1,785百万円 23年6月期 1,794百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年6月期	—	0.00	—	27.00	27.00
24年6月期	—				
24年6月期(予想)		0.00	—	27.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年6月期の連結業績予想(平成23年7月1日～平成24年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,997	3.1	194	△38.3	205	△34.4	96	△37.7	38.93
通期	6,264	5.8	490	△14.8	491	△15.0	236	△17.2	94.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
- ② ①以外の会計方針の変更 ： 無
- ③ 会計上の見積りの変更 ： 無
- ④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年6月期1Q	2,992,500 株	23年6月期	2,992,500 株
② 期末自己株式数	24年6月期1Q	507,433 株	23年6月期	507,433 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年6月期1Q	2,485,067 株	23年6月期1Q	25,466 株

（注）当社は、平成22年10月1日付で当社普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。このため、平成23年6月期第1四半期の期中平均株式数（四半期累計）については、当該株式分割が行われる前の数値で表示しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) セグメント情報等	6
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間における世界経済は、欧州の債務問題の悪化懸念、米国の景気回復の遅れなどを背景に、一段と先行き不透明な状況となりました。

わが国経済においては、平成23年3月に発生した東日本大震災及び原発事故による影響を受けながらも、企業収益の改善や個人消費の持ち直しなど徐々に回復傾向にありましたが、円高の進行や不安定な海外経済動向により、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが主力とする社宅管理事務代行事業においては、顧客の委託料の値下げ要求や業務設計の見直し、加えて競合他社との比較検討など、社内コストの削減に努める動きが発生する中、新たにアウトソーシングの導入を検討する大口企業の一部に回復の動きが見られるほか、制度コンサルティングの引き合いも堅調に推移するなど、徐々に回復傾向にはあるものの、全体的な回復には未だ時間を要する状況にあります。このような状況下、当社は付加価値の訴求や周辺サービスでのコスト削減提案など、コストパフォーマンスを特長とした競争優位のサービスを展開することで、営業活動の推進を図っております。

施設総合管理事業においては、マンション管理費用の見直し要請や競合他社との競争が引き続き厳しい状況にありますが、修繕工事などの居住性能の向上や維持するための需要は増加傾向にあり、受注状況は緩やかながら向上してきております。

このような事業環境において、当社は重点テーマに『サービス継続体制の強化』を加え、事業拡大に備えた投資を継続し、選択と集中を考慮しながらその拡充を図ってまいります。

その結果、売上高14億62百万円（前年同期比0.2%増）、営業利益1億33百万円（同10.9%減）、経常利益1億32百万円（同7.8%減）、四半期純利益は62百万円（同10.0%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 社宅管理事務代行事業

当事業におきましては、受託収入の根幹となる業務委託料の売上が堅調に推移いたしました。利益面では必要投資などによる前年度比減少を計画に折り込んでおり、当初予想しました業績で推移しております。

その結果、売上高7億16百万円（前年同期比2.1%増）、営業利益1億36百万円（同5.6%減）となりました。

② 施設総合管理事業

当事業におきましては、競合他社との価格競争が激化する中、顧客満足度の向上を目指したサービスの高品質化と統制環境の整備などの諸施策を推し進めることで、企業体質の強化を図ってまいりました。

その結果、売上高は7億46百万円（前年同期比1.7%減）、のれん代27百万円の償却後で営業損失4百万円（前年同期は営業利益4百万円）となりました。なお、前年度に変更した売上計上時期の一部変更の影響を受けて減収減益となりましたが、売上・営業利益ともに期初想定を上回っております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ11億12百万円増加し、50億91百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ11億60百万円増加し、42億96百万円となりました。これは主に営業立替金の増加10億44百万円によるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ47百万円減少し、7億94百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ11億21百万円増加し、33億5百万円となりました。流動負債は、前連結会計年度末に比べ11億23百万円増加し、31億66百万円となりました。これは主に短期借入金の増加13億45百万円によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ8百万円減少し、17億85百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期の業績は、当初の予定通りに推移していることから、平成23年8月11日に公表しました、第2四半期累計期間及び通期の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,439,567	1,651,461
売掛金	209,165	126,601
営業立替金	1,110,731	2,155,428
商品	1,490	1,640
仕掛品	632	8,031
原材料及び貯蔵品	3,177	2,945
その他	374,709	353,593
貸倒引当金	△2,721	△2,875
流動資産合計	3,136,753	4,296,826
固定資産		
有形固定資産	104,812	105,193
無形固定資産		
のれん	200,026	172,529
その他	169,652	168,581
無形固定資産合計	369,678	341,110
投資その他の資産	367,633	348,165
固定資産合計	842,124	794,469
資産合計	3,978,877	5,091,295
負債の部		
流動負債		
買掛金	211,526	155,525
短期借入金	489,000	1,834,000
未払法人税等	170,116	61,223
営業預り金	559,484	512,342
賞与引当金	22,785	91,020
役員賞与引当金	28,008	7,237
その他	562,531	505,165
流動負債合計	2,043,453	3,166,515
固定負債		
退職給付引当金	141,155	139,275
固定負債合計	141,155	139,275
負債合計	2,184,608	3,305,790
純資産の部		
株主資本		
資本金	603,250	603,250
資本剰余金	350,499	350,499
利益剰余金	1,277,099	1,272,629
自己株式	△389,301	△389,301
株主資本合計	1,841,548	1,837,078
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△47,279	△51,573
その他の包括利益累計額合計	△47,279	△51,573
純資産合計	1,794,269	1,785,505
負債純資産合計	3,978,877	5,091,295

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	1,459,929	1,462,322
売上原価	1,128,709	1,140,856
売上総利益	331,219	321,465
販売費及び一般管理費	181,502	188,083
営業利益	149,717	133,382
営業外収益		
受取利息	168	101
受取配当金	119	117
受取手数料	253	267
未払配当金除斥益	107	133
その他	184	63
営業外収益合計	833	683
営業外費用		
投資事業組合運用損	6,841	1,504
その他	39	151
営業外費用合計	6,880	1,655
経常利益	143,670	132,410
特別損失		
投資有価証券評価損	—	2,037
災害による損失	—	5,000
特別損失合計	—	7,037
税金等調整前四半期純利益	143,670	125,372
法人税等	74,108	62,745
少数株主損益調整前四半期純利益	69,561	62,627
四半期純利益	69,561	62,627

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	69,561	62,627
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,282	△4,294
その他の包括利益合計	△4,282	△4,294
四半期包括利益	65,278	58,332
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	65,278	58,332
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

Ⅰ 前第1四半期連結累計期間(自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント		合計 (千円)	調整額 (千円) (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 2
	社宅管理事 務代行事業 (千円)	施設総合管 理事業 (千円)			
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	701,001	758,927	1,459,929	—	1,459,929
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	2,981	2,981	(2,981)	—
計	701,001	761,909	1,462,910	(2,981)	1,459,929
セグメント利益	144,766	4,403	149,170	546	149,717

(注) 1. セグメント利益の「調整額」は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント		合計 (千円)	調整額 (千円) (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 2
	社宅管理事 務代行事業 (千円)	施設総合管 理事業 (千円)			
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	716,035	746,287	1,462,322	—	1,462,322
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	96	1,236	1,333	(1,333)	—
計	716,131	747,524	1,463,656	(1,333)	1,462,322
セグメント利益又は損失 (△)	136,648	△4,372	132,275	1,106	133,382

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の「調整額」は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。